

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	34° 45' 45" 135° 40' 19"	橋梁ID 34.76333,135.67194
無名橋 (フリガナ)ムメイバシ	星田27号線	交野市星田9丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
交野市	2021.8.6	河川	有	一般道	その他	無し

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		大阪神コンサルタンツ 立脇透晴
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁 Ⅱ	鉄筋露出	写真1,径間01_主桁01			
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅲ	ひびわれ	写真2,径間01_下部工02			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真3,径間01_路面01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	A2橋台の鉛直方向に発生したひびわれの近傍で、支承部のスキマが生じている。構造物の機能に支障が生じる可能性があるため早期に措置を講ずることが望まれる。




全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
不明	2.30	5.00
橋梁形式		
RC 中実床版		

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】		下部構造【判定区分：Ⅲ】	
	写真1,径間01_主桁01,鉄筋露出		写真2,径間01_下部工02,ひびわれ
	その他【判定区分：Ⅱ】		
			
写真3,径間01_路面01,路面の凹凸			